

NEWS RELEASE



関西国際空港株式会社
広報グループ TEL: 072-455-2201

「人と自然にやさしい空港」をめざして



トラックGPUを空港で初めて導入します

関西国際空港では、トラックの環境対策として全国の空港で初めてトラックGPU^{（注）}を導入することになりました。

（注）「トラックGPU」とは、当空港が推進している航空機駐機中のGPU利用に因んだ造語で、GPU（Grand Power Unit）は、駐機中の航空機に必要な電気や空調を供給する施設。

これはトラックの荷待ちや仮眠・休息時にトラックに電力を供給して運転席を冷暖房するシステムで、アイドリングの必要がなくなるため、次の効果が期待されます。

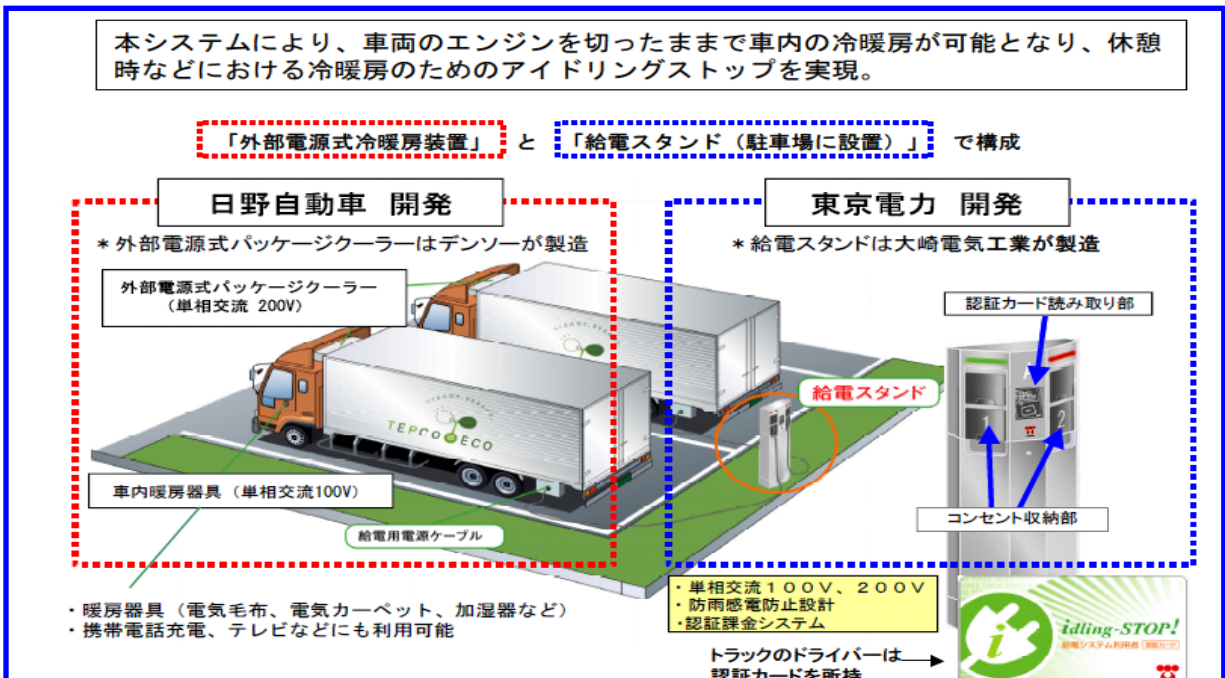
- ① 地球環境、地域環境の改善
（大型トラック1台の冷暖房利用で年間約6トンのCO₂を削減）
- ② アイドリングストップに関する法令遵守を促進
- ③ トラックドライバーの労働環境改善による安全運転への寄与

＜時 期＞ 7月下旬（予定）※確定すれば、改めてオープニングのお知らせをします。

＜場 所＞ 国際貨物地区第一トラック待機場

＜規 模＞ 給電スタンド4基（同時に8台のトラックへの給電が可能）

外部電源式アイドリングストップ給電システムの概要（東京電力（株）作成）



※東京電力（株）等が開発した「外部電源式アイドリングストップ給電システム」では、非接触型 IC カードで利用できる「給電スタンド」が、全国のトラックステーション、工場、卸売市場等 21 カ所で 86 基整備済みです（2009 年 5 月現在。）。

※本事業は、当空港において駐機中の航空機への給電事業等を行っている（株）エージーピーが構内営業として実施するものです。